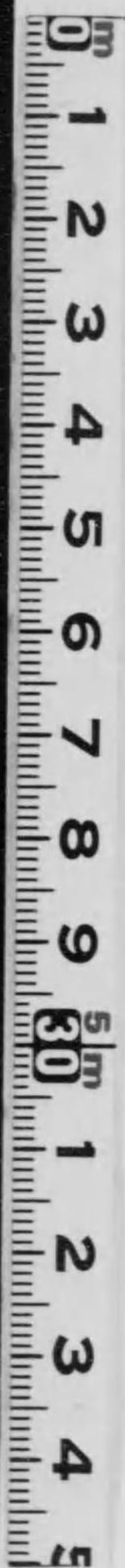


14.21

134



始



142
134

大正六年五月

大正五年度業務功程

愛知縣立農事試驗場

14.21-134



緒言

本報ハ 大正五年度ニ於ケル當場業務ノ概要

ヲ輯録シタルモノナリ

大正六年五月

愛知縣立農事試驗場

大正
6. 6. 19
内交



五七
交内

大正五年度業務功程目次

種 藝 部

一、試驗事業	一頁
水 稻	一頁
陸 稻	九頁
麥 類	一〇頁
麥芽用大麥試驗	一三頁
二、清洲ニ於ケル各種試驗	一五頁
三、種子ノ配布	二〇頁
四、農具ニ關スル試驗	二三頁
化 學 部	
一、試驗事項	二五頁
二、調査事項	二九頁
三、依頼分拆	二九頁

四、野鼠チブス菌ノ配布……………三一頁

園藝部

果樹附花卉温室……………三二頁

一、試驗事業……………三三頁

桃、梨、其他ノ種類並ニ肥料、整枝、驅除試驗……………三三頁

二、果樹園ノ管理……………四二頁

三、委託試驗……………四三頁

四、家庭果樹園……………四四頁

五、花卉及温室……………四五頁

六、柑橘園……………四七頁

七、苗圃……………四七頁

八、種苗配布……………四八頁

蔬 菜……………五一頁

一、試驗事業……………五一頁

二、試 作……………五八頁

三、輪作標準栽培……………五八頁

四、促成栽培……………六一頁

五、硝子室栽培……………六一頁

六、軟化栽培……………六二頁

七、委託試驗……………六二頁

八、委託採種……………六二頁

九、種苗配布……………六三頁

温 室……………六五頁

一、花卉種類試驗……………六五頁

畜産部

一、試驗事業……………七六頁

養鶏ニ關スル各種試驗……………七六頁

二、委託試驗……………七八頁

三、養豚	七九頁
雜之部	

一、出張	八〇頁
二、印刷物	八一頁
三、文書受發	八二頁
四、參觀人	八二頁
五、職員	八三頁

業務功程目次終

大正五年度業務功程

種藝部

大正五年度ニ於ケル當部業務ノ梗概左ノ如シ

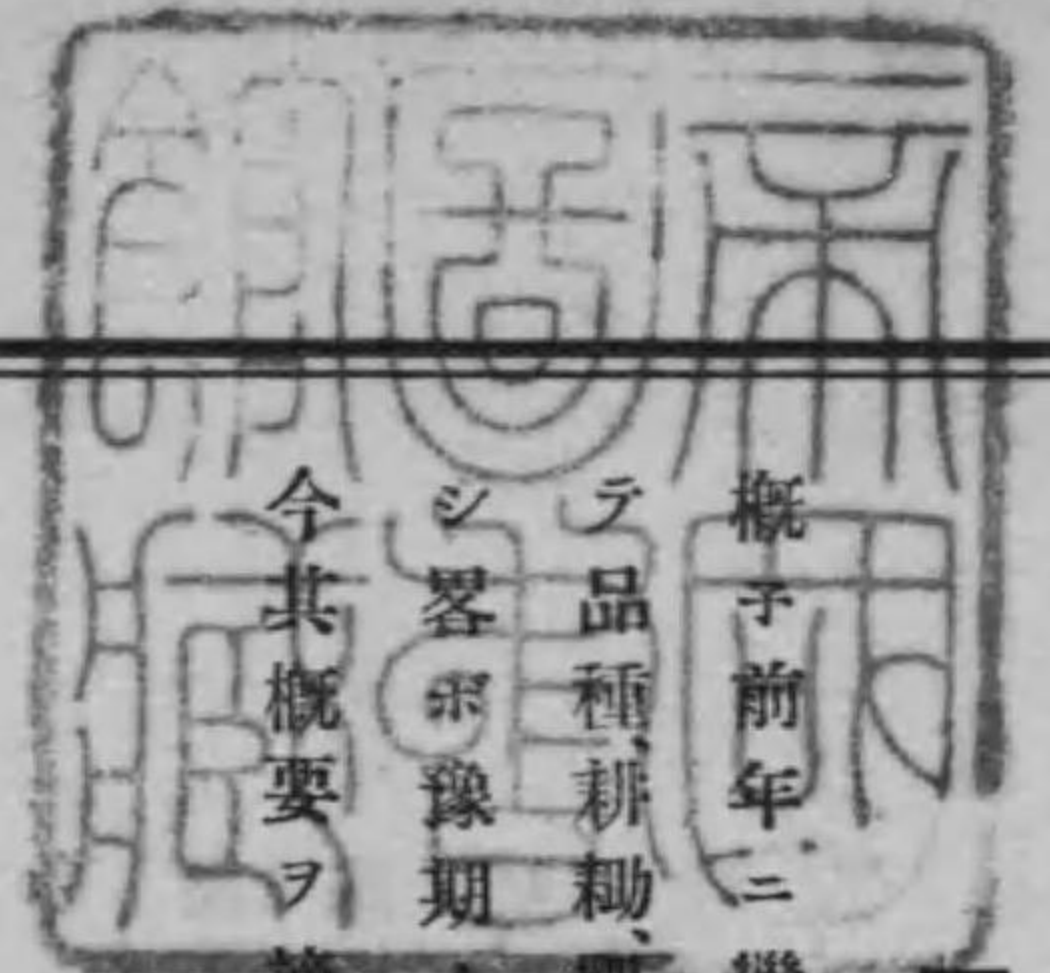
一、試驗事業

概テ前年ニ繼續シ縣下ノ重要農作物タル水稻麥類等ノ改良増殖ヲ圖ルノ目的ヲ以テ品種、耕勸、肥培、病虫害等ニ關スル試驗ヲ施行セリ本年ハ米麥共ニ順調ノ生育ヲナシ畧爾豫期ノ成績ヲ舉グルヲ得タリ
今其概要ヲ摘記スレバ左ノ如シ

水稻之部

其ノ成績ヲ摘記スレバ

一、豊凶考照試驗 本試驗ノ目的ハ早中晩各三種類ヲ一定シ年々同一耕種法ニヨリ全一地ニ栽培シ所定ノ時期ニ於ケル生育ノ狀況ニヨリ豫メ收量ノ多寡ヲ判斷シ以テ其年ニ於ケル稻作ノ豊凶ヲ考照セントスルモノニシテ生育期中數回



行ヒタル調査ニ基キ時々作況豫想ヲ發表セリ

二、水稻品種試験 本試験ハ水稻ノ各品種ニ就キ其ノ優劣ヲ比較シ兼テ其ノ特性ヲ調査スルモノニシテ左ノ數種ニ區別シ施行セリ

イ、主要品種比較試験 縣下ニ廣ク普及シ最モ主要ト目サル、二十三品種ニ就キ其生育收量ヲ比較スルモノニシテ愛國、早生神力、相德神力、晚白笹等優良ノ成績ヲ示セリ

ロ、豫備品種試験 本試験ヲ左ノ三種ニ分ツ

甲、縣下稻種特性比較試験 縣下ニ栽培セラル、二百十種ノ稻ニ就キ其特性ヲ比較セリ

乙、豫備品種試験(其ノ二) 全國ニ著名ノ品種形態異狀ヲ呈スル品種及多少有望ト認ムル品種等七十五種ヲ一括シテ本試験ニ編入シ其特性ヲ調査セリ

丙、豫備品種試験(其ノ二) 新タニ他ヨリ移入セル品種中收量ヲ比較スルノ必要アルモノ十五種ヲ本試験ニ編入ス朝日、愛媛、神力等有望ノ成績ヲ示セリ

三、純系選抜試験

縣下ニ廣ク栽培セラレ最モ主要ナル稻種ニ就テ優良ナル純系ヲ選抜シ原種田ノ原々種ヲ育成スルモノナリ本試験ハ左ノ順序ニヨリ施行セリ

甲、選抜田 永年農家ノ栽培ニ係ル錯雜ナル混系種愛國外二種ヲ一本植トナシ精細ニ視察調査シテ善良ナル株百四十餘ヲ選抜ス

乙、遺傳力試験 前年選抜田ヨリ選出セル百二十餘種ノ系統ヲ別々ニ栽培シ遺傳力ノ有無並ニ優劣ヲ比較シ神力十七、竹成五、雄町五、計二十七ノ優良系統ヲ選出セリ

丙、生産力試験 前年遺傳力試験ニ於テ最モ優秀ナル形態ヲ備ヘタル十六種ノ純系ニ就テ其生産力(收量)ノ多少ヲ比較セリ

四、雜種試験 本試験ハ人工交配ノ方法ニヨリ新品種ヲ育成セントスルモノニシテ左ノ順序ニヨリ施行セリ

甲、交配 出穂ニ先チ或ル品種ノ雄精ヲ剝去シ他品種ノ花粉ヲ交配シテ稔實セシム交配十八組トス

乙、第一代育成 前年交配ニヨリ得タル米粒ハ最モ周到ノ注意ヲ以テ植木鉢

ニ栽培シ雜種第一代ヲ育成ス使用セシ植木鉢ノ數六十五トス

丙、分離遺傳試驗 第一代ノ稻株ヨリ生ジタル籾ハ悉ク播下シ大部分ノ苗ヲ一本宛本田ニ植付ケ各株ノ特性ヲ調査シテ分離ノ狀況ヲ檢シ最モ優良ナル形態ヲ備ヘタルモノヲ選出ス本年度ハ萬歲愛國外八種ニ就テ施行シ百十余ヲ選抜セリ

丁、固定試驗 第二代ヨリ選出セル優良ノ株ハ之ヲ別々ニ栽培シ其形質ノ固定セルヤ否ヤヲ檢ス本年度ハ神力早生神力外四組二百二十余種ヲ供用シ十四種ノ固定セル新品種ヲ選出セリ

戊、新品種比較試驗 確實ニ固定セル新品種中有望ト認タル數種ニ就キ其特性收量ヲ檢ス本年度ハ畿内支場ニ於テ創作セル十六ノ品種ヲ比較シ中稻十二號中稻五十四號晚稻八號晚稻十五號晚稻二十三號等有望ノ成績ヲ示セリ

五、耕土深淺試驗 本試驗ハ施肥用量ヲ異ニスル場合ニ於ケル耕土ノ深淺ガ稻ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ確查センガ爲メ施行セルモノニシテ耕土ノ深サハ三寸ヨリ九寸ニ至リ各ヲ普通肥料全三割減全三割増ノ三様ニ區別セリ其ノ成績

ハ耕土ノ深キト施肥量ノ多キニ從ヒ收量ヲ増加シ明カニ深耕ノ有利ナルヲ示セリ而シテ深耕ニ伴フ增收ノ歩合ハ施肥量ノ少ナキ場合ニ於テ大ナル結果ヲ示セリ

六、生育ヲ異ニスル苗比較試驗 播種量及施肥量ヲ加減シ短小徒長分蘖苗等ヲ育成シ挿秧後ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ確查センガ爲メニシテ普通肥料及肥料倍量區ノ二様ニ區別シテ施行セリ其ノ成績ハ施肥量ノ普通ナル場合ニアリテハ標準苗(普通苗)分蘖苗收量多ク徒長苗短小苗ハ共ニ劣レリ肥料倍量ノ場合ニアリテハ分蘖苗第一位ヲ召メ標準苗之ニ次ギ短小苗最モ劣レリ

七、移植法試驗 本試驗ハ一步ニ栽植ス可キ株數等シキ場合ニ於ケル株間ノ長短遠近ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ試シガ爲メ行フトコロニシテ本年度ハ坪六十株及九十株ノ場合ノ二様ニ區別シ施行セリ其成績ハ坪六十株ノ場合ニアリテハ縦一尺横六寸ノ長方形植收量多ク夫レヨリ長方形ノ度ヲ増スニ從ヒ却テ收量ヲ減セリ坪九十株ニアリテハ縦八寸横五寸收量モ多ク之ヨリ長方形ノ度ヲ増スニ從ヒ收量少キ結果ヲ示セリ

八、株數試驗(其ノ一) 本試驗ハ一步ニ栽植ス可キ株數ノ多少ガ稻ノ生育收量ニ及

ボス關係ヲ確メンガ爲メ行フモノニシテ三十株ヨリ七十株迄九區ニ區別セリ其成績ハ株數ノ増減ニ對スル收量ノ差僅少ナリト雖モ五十株乃至五十五株ハ比較的優良ノ結果ヲ示セリ

九、株數試驗(其ノ二) 本試驗ハ栽植ス可キ株間ノ一邊ノ距離ヲ全一ニナシタル場合ニ於ケル株數ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ試ミンガ爲メ行フトコロニシテ三十六株七十二株百〇八株ノ三様ニ區別シ更ラニ各ヲ肥料普通量全三割全五割増ノ三様ニ分チ施行セリ其本年度ノ成績ハ施肥量ノ多少ニ係ラズ株數ヲ増加スルニ從ヒ何レモ收量ヲ増加セリト雖モ其程度ハ僅少ニシテ且ツ七十株ト百〇八株トノ差ハ極メテ少キヲ示セリ

一〇、苗本數對株數試驗 本試驗ハ同面積ニ栽植ス可キ苗ノ總本數ヲ同一ニシタル場合ニ於ケル株數ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確メンガ爲メニシテ肥料普通量及肥料五割増區ノ二様ニ分チ施行セリ其本年度ノ成績ハ肥料普通量ノ場合ニアリテハ一株ノ本數ヲ減シ株數ヲ増加シタルモノ比較的收量多ク施肥量ノ多キ場合ニ於テハ余リ株數ノ多キハ却テ不利ノ結果ヲ呈セリ

一一、雜種對病害抵抗力試驗 本試驗ハ農事試驗場畿內支場ニ於テ特ニ稻熱病ニ

對シ抵抗力強キ品種ヲ育成スル目的ヲ以テ人工交種ヲ行ヘル數品種ノ稻ニ付キ該病ニ對スル抵抗力ノ強弱ヲ確メンガ爲メ行フモノニシテ其ノ成績ハ各種共標準品種タル神力種ニ比スレバ發病少ナク尙ホ二三收量ノ點ニ於テモ病害ニ對スル點ニ於テモ有望ナルモノヲ認メタリ

一二、紫雲英施用法試驗 本試驗ハ紫雲英ニ對スル最モ有利ナル施用法ヲ知ランガ爲メ施行スルモノニシテ本年度ノ成績ハ石灰ト共ニ施用セシモノ最モ好結果ヲ呈セリ

一三、紫雲英施用量試驗 本試驗ハ紫雲英ニ對スル施用量ノ極度ヲ確メンガ爲メ行ヒタルモノニシテ其成績ハ稍區々ニ亘レルノ嫌ナキニアラザレドモ蓋シ反當六百貫内外ヲ施用ノ限度トスルガ如シ

一四、堆肥ノ効驗試驗 本試驗ハ當場圃場ノ如ク開墾日尙淺ク頗ル有機物ニ乏シキ粘土地ニ對スル堆積肥料ノ効驗ヲ檢センガ爲メニシテ其ノ成績ハ堆肥ヲ施用セシモノハ否カラザルモノニ比シ收量多ク其効驗ノ稍著シキヲ認ムルト雖モ試驗年限日尙淺キヲ以テ地力ニ對スル關係ニ至リテハ未ダ著シカラズ

一五、堆肥施用量試驗 本試驗ハ堆肥施用量ノ限度並ニ地力ニ及ボス關係ヲ確メ

八
ントスルニアリテ其ノ成績ハ堆肥ノ施用量ニ増加スルニ從ヒ收量ヲ増加シ地力ニ及ボス關係ニ至リテハ未ダ判明セズ

一六、無機肥料連用試験 本試験ハ無機肥料ニ屬スル硫酸アンモニヤ及ビ石灰窒素ヲ連年施用スル場合ニ於テ之レニ有機肥料ヲ加用セルモノト否ラザルモノトノ土壤ノ理化學的性質並ニ稻ノ生育收量ニ及ボス影響ヲ試ミンガ爲メ施行スル所ニシテ其成績ハ未ダ無機肥料連用ノ害ヲ認ムルニ至ラズ

一七、二化螟虫ニ關スル調査 前年ト同ジク二化螟虫經過被害狀況驅除法ニ關シ調査研究スルヲ目的トシ左ノ調査ヲ行ヒタリ

- 一、發蛾期ノ調査 五月上旬ヨリ九月下旬ニ至ル間當場構内ニ毎夜誘蛾燈一個ヲ點シ毎朝之レニ集來セシ螟蛾ヲ檢シ之レガ發生時期ヲ調査セリ
- 二、加害期調査 普通耕種法ニヨリ早中晩各一種ヲ一畝步宛栽培シ挿秧ヨリ收穫ニ至ル迄五日目毎ニ被害莖ヲ切取リ被害莖數並ニ該莖ニ對スル螟虫ノ棲息状態ニヨリ加害時期ヲ調査セリ
- 三、越冬狀況調査 被害比較的甚ダシキ無驅除區ノ稻ニ就キ莖及刈株内ニ蟄伏越冬スル幼虫ノ状態ニ付キ調査セリ

- 四、葉鞘變色莖出現時期調査 八月中旬ヨリ五日目毎ニ一定ノ稻田ヨリ葉鞘變色莖ヲ切取リ其ノ數ヲ檢シ出現ノ狀況ヲ調査セリ
- 五、葉鞘變色莖中ノ虫數調査 一定ノ稻田ニ就キ八月下旬九月上旬全中旬全下旬ノ四回被害莖三百本ヅ、切取リ其中ニ棲息スル幼虫ノ數ヲ檢セリ
- 六、葉鞘變色ヲ出現セル部分調査 早中晩各種ニ就キ多數葉ノ葉鞘變色莖ヲ切取リ變色セル部分ノ調査ヲ行ヒタリ
- 七、葉鞘變色ノ程度ト螟虫ノ存在虫數調査 多數ノ葉鞘變色莖ヲ切取リ變色ノ程度ニ從ヒ分類シ其内棲息スル螟虫ノ數ヲ調査セリ
- 八、被害莖切取勞力調査 被害中庸ト認メタル稻田ニ就キ二回目螟虫ノ被害莖切取ヲ行ヒ一定面積ニ對スル努力ノ調査ヲ行ヘリ

陸 稻 之 部

一、品種試驗 優良ナル品種ヲ選出センガ爲メ從來試驗ノ結果比較的優良ト認メタルモノ十種ニ付キ收量ノ多寡品質ノ良否ヲ比較セリ其ノ本年度ノ成績ハ大畑早生、オイラン、最モ優良ノ結果ヲ呈セリ

二、堆肥効驗試驗 堆肥ノ効驗並ニ地力ニ及ホス効果如何ヲ檢センガ爲メ行フ所ニシテ併用肥料ヲ硫酸アンモニヤ及ビ鍊粕トセリ其成績ハ堆肥ヲ加ヘタルモノハ兩者共ニ著シク優良ノ結果ヲ示セリ
然レトモ土地ニ對スル操作ニ至リテハ未ダ顯著ナラズ
三、無機質肥料連用跡地試驗 本試驗ハ各作麥ニ繼續スルモノニシテ其成績ハ麥作ノ場合ト全ク反對ノ結果ヲ來シ石灰加用區ハ何レモ病的ノ發育ヲナシ硫酸アンモニヤ及硫酸加里施給區ハ最好成績ヲ示セリ

麥ノ部

一、豊凶考照試驗 年々同一地ニ同一ノ耕種法ヲ以テ大小稈各三種ヲ栽培シ一定ノ時期ニ調査セル生育狀況ヲ累年ノモノト對照シテ其ノ年ニ於ケル麥作ノ豊凶ヲ豫察セントスルモノニシテ所定ノ調査ニ基キ時ニ其ノ作柄ヲ發表セリ
二、大小稈麥品種試驗 大麥稈麥各十六種小麥八種計四十種ノ麥ニ就キ其特性收量ヲ調査シ縣下ニ適スル品種ヲ選抜セントスルモノニシテ本年度ニアリテハ大麥ハ倍取、小娘、池林、稈麥ハ九州、香川、紅梅小麥ハ白坊主、廣島等優良ノ成績ヲ示

セリ

三、小麥新品種試驗 雜種ノ方法ニヨリ畿内支場ニテ育成セル三十三種ニ就キ其優劣ヲ比較セントスルモノニシテ本年度ニアリテハ小麥五號全四十號全四十二號全十二號等有望ト決定セリ
四、豫備品種試驗 前年度分類試驗ニ於テ縣下麥品種一千四百二十一種ヲ分類シタル大麥四十九種稈麥十九種小麥四十二種ニ就キ其特性ヲ比較調査セリ
五、播種期試驗 本試驗ハ施肥量ヲ異ニセル場合ニ於ケル播種ノ早晚カ收量品質ニ及ホス關係ヲ確メンガ爲メニシテ其本年度ノ試驗成績ハ早播ノモノ收量最も多ク播種ノ遅ル、ニ從ヒ漸次減收セリ肥料用量ニ對スル關係ニ至リテモ早播ノモノハ肥料ノ増加ニ伴フ增收歩合大ナレトモ遅播ノモノハ却テ反對ノ結果ヲ示セリ
六、畦巾對肥料用量試驗 本試驗ハ畦巾ノ廣狹ト施肥料量ノ多少トノ關係ガ其生育收量ニ及ホス關係ヲ確メントスルニアリテ其本年度ノ成績ハ畧ホ前年度ノ成績ト等シク肥料用量ノ少ナキ場合ニハ畦巾ハ稍狹キヲ利トシ之レニ反シ肥料ヲ増加スル場合ニハ廣キヲ利アリトスルガ如シ

七、播巾試験 本試験ハ一定面積ノ播種量同一ナル場合ニ於テ播巾ノ廣狹ガ麥ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ確メシテ其本年度ノ成績ハ各區共著シキ徑庭ナキガ如シト雖ドモ肥料用量ノ如何ヲ問ハズ概シテ播幅ハ廣キヲ利アリトスルガ如シ

八、窒素質肥料比較試験 本試験ハ主ナル窒素質肥料ノ効驗ヲ確メシテ其本年度ノ成績ハ五種ノ窒素質肥料中鍊粕ハ効驗最モ著シク智利硝石人糞尿之レニ次ギ大豆粕最モ劣レリ

九、無機肥料試験 本試験ハ無機肥料タル硫酸アンモニヤ智利硝石石灰窒素ノ三種ニ對シ之レニ塩基性及ビ酸性肥料ヲ併用シタル場合ニ於ケル効驗並ニ之レガ連用ノ地力ニ及ボス關係ヲ試ミンガ爲メ施行セシモノニシテ各種共加里肥料ヲ藁灰ニテ施給シタルモノ最モ好結果ヲ示シ石灰ヲ加用セシモノ之レニ次ギ硫酸アンモニヤ加里肥料トシテ硫酸加里ヲ併用セルモノ最モ劣レリ就中硫酸アンモニヤ區ニアリテハ逐年優劣ノ差特ニ著シキヲ認ム

一〇、堆肥効驗試験 堆積肥料ノ効驗並ニ連續施用ノ場合ニ於ケル地力ニ及ボス操作ヲ檢セントスルモノニシテ併用肥料ヲ鍊粕及硫酸アンモニヤトシ大正二

年度ヨリ繼續施行セリ其成績地力ニ對スル操作ハ未ダ判明スルニ至ラズト雖ドモ堆肥ノ効驗ハ顯著ニシテ硫酸アンモニヤ鍊粕共ニ之レヲ施用セシモノハ生育優リ殊ニ硫酸アンモニヤ區ニ於テハ其ノ著シキヲ認ム

一一、堆肥施用量試験 本試験ハ堆肥施用量ノ限度ヲ見出スト共ニ之レヲ連續施行スル場合ニ於ケル地方ニ及ボス影響ヲ確メシテ其爲メ施行セシモノニシテ其ノ成績ハ堆肥ノ用量ヲ増加スルニ從ヒ收量亦増加セリト雖ドモ蓋シ其限度ハ四百貫乃至六百貫迄トスルガ如シ其地力ニ對スル關係ニ至リテハ未ダ判明スルニ至ラズ

麥芽用大麥ノ部

麥芽用大麥ニ關スル試験ハ農商務省ノ指定ニ係ルモノニシテ前年ニ引續キ左記試験ヲ施行セリ

一、品種試験 麥芽用ニ適スル優良品種ヲ選出センガ爲メ施行スルトコロニシテ農商務省農事試験場及ビ各府縣ヨリ取寄セタル外國種並ニ從來當場ニ於テ栽培セル内外種ヲ合セテ二十種ニ付キ其ノ收量ノ多寡品質ノ良否ヲ比較セリ其

本年度ノ成績ハ、ハンナ佛五號、ストリガム、ミツデルフランキジユ等優良ノ結果ヲ示セリ

二、各種窒素質肥料及其施用量ニ關スル試験 本試験ハ各種形態ヲ異ニセル窒素質肥料ノ効驗及其施用量ノ大麥收量品種ニ及ボス關係ヲ確メントスルニアリテ其本年度ノ成績ハ智利硝石最モ効驗多ク、鯨粕之ニ次ギ人糞尿ハ最モ劣レリ而シテ鯨粕智利硝石ハ其施用量ヲ増加スルニ從ヒ收量亦増加スレトモ人糞尿硫酸アンモニヤハ其增收歩合極メテ少シ

三、畦幅試験 本試験ハ畦巾ノ廣狹ガ大麥ノ收量品質ニ及ボス關係ヲ確メンガ爲メ施行スルトコロニシテ一尺五寸ヨリ二尺五寸迄五區ニ區別セリ其成績ハ區々ニシテ捕捉スルニ苦ムト雖ドモ畦巾狭キモノハ分蘖歩合少ナク、遲穂ヲ生ズルコト多カラズシテ子實整一ナル傾向アルヲ認ム

四、播種期試験 本試験ハ播種ノ早晚ニヨリ其生育收量及ビ品質ニ及ボス關係ヲ確查センガ爲メ施行セシモノニシテ其本年度ノ成績ハ十一月十五日播最モ收量多ク之レヨリ早晚何レニ失スルモ不可ナルノ結果ヲ示セリ

五、播種量試験 本試験ハ播種量ノ多少ニヨリ收量品質ニ及ボス關係ヲ確メンガ

爲メ施行セシモノニシテ其本年度ノ成績ハ四升播收量最モ多ク六升播之ニ次ギ二升播ハ稍劣レリ

以上記スル所安城ニ於テ施行セシ試験並ニ成績ノ概要ナルガ尙ホ清洲ニ於テモ左記試験ヲ施行セリ

清洲種藝部

一、品種試験 從來試験ノ結果優良ト認メタルモノニ更ニ新品種及在來品種ノ良好ナルモノヲ加ヘ其特性收量ノ多寡品質ノ良否ヲ比較シ廣ク縣下ニ適應スル品種ヲ撰出セントスルニアリ本年度ノ成績ハ神國器良好、三河錦、黃笹、晚白笹、神力籾等優良ノ結果ヲ示セリ

二、豫備品種試験 前年度ヨリ引キ續キ調査ヲ要ルモノ及ビ新ニ他ヨリ取り寄セタル品種六十種ニ就キ其特性ノ調査ヲ行ヘリ

三、紫萼英施用法試験 本試験ハ經濟的窒素質肥料タル紫萼英ヲ施用スルニ當リ最モ適當ナル施用法ヲ見出サンガ爲メ施行セシモノニシテ其成績ハ生ノ儘施用シタルモノ及生ノ儘施用シタルモノニ石灰加用ノモノ乾燥シテ施用ノモノ等

好結果ヲ示セリ

四、紫萼英施用量試験 本試験ハ紫萼英ヲ施用スル場合ニ於ケル適量ヲ見出サンガ爲メ施行セシモノニシテ其成績ハ未ダ判明セザルモ蓋シ反當六百貫位迄施用ハ差支ヘナキガ如シ

五、綠肥試験 本試験ノ目的ハ縣下ニ於テ最モ多ク施用セラレ、綠肥ニ就キ其配合施用時期等既得試験ノ成績ニ鑑ミ更ラニ最モ有利ナル施用法ヲ確メンガ爲メ施行セル所ニシテ其成績ハ苜蓿、青刈、大豆、紫萼英、野草、最モ好結果ヲ示セリ

六、移植ノ早晚ト肥料トノ關係試験 本試験ハ移植期ノ早晚ト之ニ對スル肥料ノ多少ガ其生育收量並ニ病蟲害ニ如何ナル關係アルヤヲ確メン爲メ施行セシモノニシテ本年度ノ成績ハ試験年限日淺キヲ以テ未ダ判明スルニ至ラズ

七、苗ノ比較試験 本試験ハ播種量及施肥量等ニヨリ生育ヲ異ニスル苗ニ就キ插秧後ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ確メンガ爲メ行フモノニシテ施肥量ヲ普通肥料區及普通肥料倍量區ノ二様ニ區別シテ施行セリ其本年度ノ成績ハ試験年限日淺キヲ以テ未ダ判明セズ

八、苗本數及株數對施用量試験 本試験ハ一步ニ栽植ス可キ苗本數及株數ノ多少

及施肥量ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確メンガ爲ニシテ一步三十株六十三株九十九株ノ三様ニ區別シ更ラニ肥料普通量全五割増全倍量ノ三様ニ分ケ施行セリ其本年度ノ成績ハ施肥量ノ多少ニ係ハラズ株數ノ増加ニ伴ヒ收量多キ結果ヲ示セリ

陸稻ノ部

一、品種試験 比較的優良ト認メタル九種ニ就キ更ラニ其特質收量ノ多寡品質ノ良否ヲ比較シ優良ナル品種ヲ選出センガ爲メ施行セリ本年度ノ成績ハ大畑早生、オイラン、平和糯、アラビヤ糯等比較的良好ノ結果ヲ示セリ

麥ノ部

一、品種試験 從來試験ノ結果優良ト認メタルモノニ更ラニ新品種ヲ加ヘ大小稈三十種ニ就キ其特性、收量ノ多寡ヲ比較セリ、本年度ノ成績ハ大麥ニアリテハ改良大麥、三德、青麥、白麥、稗麥ニテハ白稈、香川、鬼稈、於七、小麥ニテハ西國穗揃、畿内五號、赤坊主等優良ノ結果ヲ示セリ

二、窒素質肥料効驗試驗 本試驗ハ主ナル窒素質肥料ガ麥ノ生育收量ニ及ボス効驗程度ヲ確メンガ爲メ施行セリ本年度ニ於ケル成績ハ鱒粕大豆粕最モ良好ナリ

三、大豆粕配合試驗 大豆粕ヲ主肥トシテ施用スル場合ニ於ケル最モ適當ナル配合施用法ヲ見出サンガ爲メ施行セシモノニシテ其成績ハ大豆粕ニ人糞尿ヲ加ヘタルモノ大豆粕ニ鱒粕、人糞尿、硫安ヲ加ヘタルモノ好結果ヲ示セリ

四、堆肥効驗試驗 肥沃ナル熟土ニ尙ホ堆肥ヲ施スノ必要アルヤ併セテ其効驗程度ヲ見出サンガ爲メ施行セル所ニシテ其成績ハ試驗年限日淺キヲ以テ未タ判明スルニ至ラズ

原種圖

麥原種圖

麥原種圖ハ當場構内ニ二反九畝二十二步二合ヲ經營シ原種四石二斗一合ヲ得タリ其ノ内譯左ノ如シ

大麥	改	良	五畝二十三步	九斗五升
----	---	---	--------	------

水稻原種圖

水稻原種圖ハ碧海郡六ツ美村ニ於テ九段步内本年度耕作面積七反八畝九步ヲ經營セリ各種共何等支障ナキ發育ヲ遂グ精選セル原種十九石三斗ヲ得タリ其ノ内譯左ノ如シ

早稻	愛	國	四畝十步	七斗	
中稻	器	量	好	九畝二十六步	二石三斗五升
全	三	河	錦	九畝十六步	二石六斗五升
全	雄		町	四畝十七步	一石〇九升
全	竹		成	九畝二十五步	二石〇四升
晚稻	神		力	四反五畝步	十石四斗七升

計 二反九畝二十二步二合 四石二斗〇一合

計

七反八畝九步

十九石三斗

種子配布

米麥優良品種普及ノ目的ヲ以テ經營セル米麥原種圃ヨリ生産セル種子ハ主トシテ縣下各郡市農會ノ經營セル採種田ノ原種トシ殘餘ハ管内模範的地主及精農者ニ對シ優良品種並ニ純良種子ノ模範ヲ示サスガ爲特別配布ヲナシ尙殘餘ハ一般當業者ノ希望ニ應ジ無償配布ヲナセリ尙前年度ニ引續キ場内番外田ニ於テ特ニ人工交配ニヨリ創作セル新品種ニシテ試驗ノ結果有望ト認メタル神國外六種ノ採種ヲ行ヒ縣下二十二ヶ所ニ指定配布ヲ行ヒタリ今其數量種類ヲ示セバ左ノ如シ

麥類ノ部

一、採種圃原種トシテ配布セルモノ

大麥	改良	八斗一升
稞麥	コビンカタギ	二斗一升五合二勺
全	香川	一斗八升八合六勺
小麥	チク	五斗七升七合九勺

全中村

二斗九升三合
二石四升四合七勺

計

一、一般配布ヲナシタルモノ

稞麥	コビンカタギ	二斗二合
全	香川	二斗五升七合
小麥	チク	三斗一升三合
全	中村	一斗七升二合
計		九斗四升四合
累計		二石九斗八升八合七勺

此配布人員 農會其他公私團體 當業者

六 十
二百〇三人

水稻ノ部

一、採種圃原種トシテ配布セルモノ

早稻	愛國	一斗五升二合
中稻	器量好	一斗八升

中稻 三河 錦
 全 雄 町
 全 竹 成
 晚稻 神 力

計

六斗六升四合
 一斗八升八合
 二斗七升
 三石三升六合
 四石四斗九升

一、特別配布ヲナシタルモノ

早稻 愛 國

四斗二升

中稻 器 量 好

四斗五合

全 三河 錦

六斗六升

全 雄 町

三斗四升五合

全 竹 成

二斗一合

晚稻 神 力

四石一斗四升

計

六石一斗七升一合

一、一般配布ヲナシタルモノ

早稻 愛 國

一斗二升八合

中稻 器 量 好
 全 三河 錦
 全 雄 町
 全 竹 成
 晚稻 神 力
 水陸稻糶外數種

計

六斗八升六合
 八斗八升二合五勺
 一斗七升四合
 一斗五升六合
 九斗四升六合五勺
 五斗四升八合
 參石五斗二升一合

一、新品種指定配布シタルモノ

神 國 外 六 種

五斗五升

累

十四石七斗三升二合

此配布人員

郡市農會其他公私團體
 當業者

六十五人
 五百六十九人

農具ニ關スル試驗

農具試驗ハ爾來農商務省ノ指定ニ基キ行フ所ニシテ前年ニ引續キ新ニ購入セルモ

ノヲ加へ各種専ラ其構造ニ付テ優劣ヲ比較試験シ特ニ此内回轉式稻麥拔機粉摺臼唐箕ニ關シテハ其形式機構及材料ノ適否ヲ試驗スル爲メ當場ニ於テ別ニ製作セシモノ構造調査ヲナシ尙之ガ改良ニ付テ考案研究ヲナシツ、アリ然シテ本年試驗ニ供セシ農具ノ種類ハ左ノ如シ

一、粉摺臼及粉摺機	種類試驗	三〇
一、全	構造試驗	四五
一、回轉式稻麥拔機	種類試驗	二八
一、全	構造試驗	一七
一、千齒稻拔器	種類試驗	一五
一、萬石籠	全	七
一、唐箕	全	八
一、麥摺機	全	一二
一、除草器	全	三二
一、唐箕	構造試驗	五

化學部

本年度ニ放テハ多クハ前年度ヲ繼續シ試驗事項トシテハ石灰、石灰窒素、三要素適量及窒素並ニ磷酸ノ肥効歩合等ヲ圃場、木框、土管及植木鉢ヲ用ヒテ調査研究シタルト一般當業者ノ依頼ニ係ル肥料、土壤、農産物其他ノ定量及定性分拆並ニ土壤ノ採集調査ヲ主トス其ノ概要ヲ記サバ次ノ如シ

一、試驗事項 (大正四年麥作及大正五年稻作)

- 一、三要素適量試驗 水稻及麥ニ對シ本場土壤ニツキ三要素ノ適量ヲ知ラントシ圃場試驗ヲ行ヘリ麥作ニアリテハ窒素ハ反當二貫匁乃至二貫五百匁磷酸ハ一貫五百匁乃至二貫匁最モ良好ナル成績ヲ得タルモ加里ハ不明ナリ稻作ニアリテハ磷酸及加里ハ二貫匁最優良ナリシモ窒素ハ不明ナリキ
- 二、三要素試驗 施肥標準調査ノ準備トシテ代表的土壤ニ對スル三要素適量ヲ推定セントシ水稻ニツキテハ渥美郡ノ土壤三種丹羽郡一種ヲ麥ニツキテハ東春日井郡一種寶飯郡一種渥美郡一種ノ調査ニ着手セリ此ノ試驗ハ三ヶ年繼續ノ

三、石灰ニ關スル試験 水稻及麥ニ對スル石灰ノ効驗ヲ考究シ其ノ運用ガ作物ノ品質並ニ土壤ノ性質ニ如何ナル影響ヲ與フルカヲ知ラントシ圃場ニ於テ石灰加用試験ヲ行ヘリ麥作ニアリテハ石灰ノ効驗大ニシテ加用ニ一致シテ收量多ク又子實ノ化學成分ハ石灰ノ用量ノ増スニ從ツテ粗灰分ハ漸次少ナク窒素全量ハ増加セリ稻作ニアリテハ紫雲英ニ石灰ヲ加用シタルモノハ用量ト一致シテ收量漸次増スモ大豆粕ニ加用シタルモノハ多量ハ大ナル効ナキ如シ又玄米ノ化學成分ハ特ニ差異ヲ認メズ尙連用ト土壤ノ性質ニツキテハ大正五年七月農事試験成績トシテ其ノ詳細ヲ報告シタリ今其ノ成績ニヨレバ水田ニ於テハ含水量ニ多少差異アル如ク又窒素全量ハ紫雲英區ニ於テハ多量區ハ漸次少ナキモ大豆粕區ハ之レニ反シ塩化加里ニヨル全酸度ハ著シキ差異アルモ其他ハ殆ド關係ヲ見出ス能ハザリキ尙繼續研究セントス其他「ボット」試験ニヨリ石灰鹽類即チ醋酸石灰、塩化石灰、硫酸石灰ノ効驗ヲ比較セリ麥ニアリテハ醋酸石灰ハ効果大ナリシモ硫酸石灰ニ劣リ塩化石灰ハ却テ有害ナリキ、水稻ニアリテハ石灰ハ効ナク醋酸石灰ハ塩化石灰ヨリ更ニ有害ナル如キ成績ナリシカバ更ニ

四、調査ヲ行ハントス

石灰窒素ニ關スル試験 石灰窒素ノ肥効ヲ硫酸アンモニヤニ比較セントシ水稻ニツキ共通肥料トシテ(一)過磷酸石灰、硫酸加里ヲ用ヒタル場合(二)過磷酸石灰、葉灰ヲ用ヒタル場合(三)麥稈、米糠ノ如キ有機質肥料ヲ用ヒタル場合(四)(三)ニ石灰ヲ多量用ヒタル場合ニツキ考究セリ本年ノ成績ハ四區共石灰窒素ノ方優良ニシテ(一)及(二)ニアリテハ三分乃至五分(三)(四)ニアリテハ三分乃至一割トス尙四ヶ年ノ平均成績ヨリ考フルニ石灰窒素ハ硫酸アンモニヤニ比シ肥効大ニシテ五分以内トスベキカ又稻、麥ニツキ石灰窒素ノ施用法ヲ考究セリ麥作ニアリテハ土壤ト豫メ堆積ニ週間位ニシテ施用スルヲ可トシ稻作ニアリテハ三日前ニ施用スルモ効果劣ラザルヲ示セリ尙調査ヲ續ケントス、次ニ土壤ノ種類ト石灰窒素ノ分解ノ遲速ヲ究メントシ稻、麥ニツキ二三ノ土壤ニ對シ栽培試験ヲナセリ此ノ試験ハ數種ノ土壤ニツキ順次施行セントス

五、紫雲英對過磷酸石灰加用試験 紫雲英施用ニ當リ過磷酸ノ加用ガ作物ノ品質收量ニ如何ナル効果ヲ及ボスカヲ試ミタリ稻作ニアリテハ磷酸ノ加用ハ收量ニ何等影響ヲ及ボサザリシモ玄米ノ硬度及粗灰分ノ増加セルヲ認メ子粒ノ重

- 六、窒素ノ有効歩合査定試験 木框ヲ用ヒテ稻麥ニツキ主要ナル窒素肥料ノ窒素被吸收歩合ヲ査定セントセリ麥作ニアリテハ硫酸アンモニヤ、智利硝石、味噌粕、菜種油粕ハ幾分吸收サレタルモ大豆粕、鯨粕、鶏糞ハ負數ヲ示セリ稻作ニアリテハ各種肥料共被吸收ノ歩合極メテ少ナケレバ尙繼續調査セントス
- 七、磷酸ノ有効歩合査定試験 木框ヲ用ヒテ稻ニツキ重要磷酸肥料ノ被吸收歩合ヲ査定セントセリ本作ニアリテハ米糠ハ負數ヲ示シ骨粉、過磷酸、石灰ハ極メテ少量ナリキ尙繼續施行セントス
- 八、特種土壤ノ改良ニ關スル試験 南設樂郡千郷村附近ノ腐植質土壤ノ改良トシテ石灰及磷酸ノ効果ヲ知ラントシ「ポット」試験ヲナセリ麥作ニアリテハ各區共發芽當時ハ良好ナリシモ四月ニ至リ多クハ枯死セリ、陸稻ニアリテハ石灰ノ効果ハ著シク磷酸ノ効果モ亦大ナルヲ知レリ、又渥美郡高師村ノ赤土酸性土壤ニ對シ大豆ヲ栽培シ石灰ノ所要量ヲ考究セリ
- 九、大豆粕ノ肥効試験 漂白大豆ヲ普通大豆粕ト比較セシメニ稻ニツキ圃場試験ヲ行ヘリ普通大豆粕ハ生育期中ハ漂白大豆ニ劣リ糝ノ收量多クヤ、成熟

遅延シタルモ收量ハ殆ド同ジカリキ

- 一〇、濱土ノ肥効試験 濱土ノ肥効ヲ堆肥ト比較セシメニ土管ヲ用ヒテ稻作試験ヲ行ヘリ本年ノ成績ハ無機肥料及有機肥料兩場合トモ堆肥ニ劣レリ
- 一一、「サナシタ」ノ肥効試験 蔬菜促成栽培ノ蒸熱物ニ使用サレタル腐熟「サナシタ」及ビ「サナシタ」ノ肥効ヲ堆肥ト比較セシメニ土管栽培ニヨリ水稻作ヲ行ヘリ其ノ成績ニヨレバ腐熟「サナシタ」ハ殆ド堆肥ト等シク「サナシタ」ヲ其儘糞ト共ニ施用シタルモノハ腐熟「サナシタ」ニ比シ遙カニ肥効大ナリキ

二、調査事項

- 一、幡豆郡、東春日井郡ノ兩郡ニ亘リ土壤ノ現地調査及土壤採取ヲナセリ目下分拆中ニ屬ス
- 二、堆肥成分ノ調査 堆肥ノ標準成分ヲ知ラントシ數部ニツキ其地方普通ノ堆肥ニヨル原料ヲ異ニスル堆肥ノ化學分拆ヲ行ヘリ

三、依頼分拆

園藝部

果樹附花卉温室

本年度ニ於テハ知多郡大府町へ柑橘試験地ヲ創設シタルト場外ニ苗圃新設ノ二事業ノ外ハ多ク前年度ヲ繼續施行シタリ今ヤ果樹園創設以來十五星霜ヲ經過シタルバ樹姿ヲ完成シ何レモ結果盛期ニ達スルニ至レリ前年度降雨量少ナク花芽ノ着生多カリシモ各種ヲ通ジテ一週間乃至十日開花時期ノ遅延シタル爲メ結實良好ト云フヲ得ザリシモ市價例年ニ比シ一割高價ナリシヲ以テ其收入ハ果樹園創設以來未ダ無キノ好成绩ヲ擧ゲタリ殊ニ柿ノ如キハ縣下一般不作ナルニ拘ラズ美果累累々參觀者ヲシテ培養手入ノ必要ヲ痛切ニ感ゼシメタリ一方樹齡ノ加フルニ從ヒ各種病蟲ノ發生多カリシモ驅除豫防ニ勗メタル結果差シタル被害ナキモ梨ノ姬心喰ハ前年ノ如ク其發生甚シク二三種ニ對シ多大ノ被害アリ果實ノ販賣及荷造ニ付テハ一層ノ注意ヲナシ成績不良ナル樹種ハ換植ヲ行ヒ既ニ成績完了セルモノハ勗メテ普及ノ策ヲ講ジタレバ逐次當業者ノ應用スルニ至リ良好ノ結果ヲ奏シツ、アリ本年度ニ於ケル事業ノ大要次ノ如シ

一、試験事業

成績ノ完了セルモノハ勗メテ之レヲ省キタルモ他ノ作物ト異ナリ短時日ヲ以テ完全ノ成績ヲ擧ゲ能ハザレバ新ニ數種ノ試験ヲ加ヘタルノ外多ク前年度ヲ繼續シタルモノナリ

一、桃ノ種類試験

早生種、由來桃ハ早生ノ良品種ニ乏シク魁、アムスデンジュン、ハ植後六、七年間ハ成績良好ナリシモ樹齡ノ増加スルニ連レ硬化病ノ被害多ク收利充分ナラズ樹性強健比較的有利ナルハ、ヅキクトル種ニシテ六月中旬ニ成熟シ果少シク小ノ欠点アルモ豊産ナレバ早生種中最モ望多ク「トライアンブ」「アドミラルデュウエ」ハ七月上旬ニ熟シ品質余リ良好ナラザルモ豊産ナレバ相當ニ收利アリ該種ハ黃肉種ナレバ罐詰用ニ適ス天津水蜜桃ハ豊産ナルモ品質不良ナレバ逐年需要ヲ減少シ收利少ナキニ至レリ「アトリ」ハ七月中旬ニ成熟シ有利ナル種類ニシテ橘早生ハ神奈川縣ニテ發見シタル新種ニシテ本年度初メテ栽植シタレバ良否判然セズ其他早生種トシテ數種アルモ成績何レモ不良ナリ

中生種 其品種甚ダ多ク就中早生水蜜、土用水蜜、雜核水蜜、カルマン、コンネツツ
サウザリン、アローリー、ノ五種ハ七月中下旬ニ成熟シ樹性強健豐產品質優良ニシ
テ收利多キ營利的品種トス早生及土用ノ兩種ハ果形稍長圓ニシテ色澤青色果
肉白色甘酸相適シ差シタル相違ノ点ナキモ前者ノ方豐産良好ナリ中生種中品
質ノ最モ優良ナルハ幡桃ナレドモ結果少ナク到底營利的栽培ニ適セズ其他新
品種トシテ數種ノ栽植アルモ未ダ結果期ニ達セズ

晚生種 上海水蜜桃ハ數年以來落果多ク營利的品種トシテハ望少ナカリシモ
本年度ハ非常ノ豐産ニシテ收利甚ダ多ク其品質ノ良好ナル他營利的品種ヲ匹
敵スルモノナシ金桃ハ品質ニ於テ餘リ優良ナラザルモ樹性強健病蟲ノ被害少
ナク至極豐産ナレバ栽培シテ可ナルベク、エルバルタ、ハ果形大黄色微紅斑アリ
果肉黄色ニシテ相當收利アリ何レニシテモ晚生種ハ八月中下旬ニ成熟スルモ
ノナレバ當時既ニ早生梨ノ成熟スルヲ以テ桃果ノ需要ヲ減退スルモノナレバ
晚生種ノ栽培餘リ望マシカラズ

二、
梨ノ種類試驗 供試ノ品種ハ合計七十八種ニシテ内西洋梨三十五種日本梨四
十三種ニシテ本邦現在ノ和洋兩種ノ總テヲ網羅セルモ逐年増殖シタル品種多

ケレバ未ダ結果セザルモノ多々アリ
本年度ニ於ケル成績ニ鑑ミ從來ノ成績ヲ綜合シ收量ノ多寡品質等ヲ對照比較
スルトキハ左記品種ノ如キ最モ優良ナルモノナリ
日本種

- 早生種 市原早生 眞 餘 獨 逸
- 中生種 長十郎 二十世紀 大 日
- 晚生種 重次郎 晚三吉 寶

市原早生ハ高知縣ノ原産ニシテ大正二年度ニ新植シ昨年度數個ノ結實ヲ見本
年度ニ至リ三十個ノ結實ヲナシ最大一個八十匁ニシテ果ハ圓形外皮淡褐滑澤
肉質緻密早生種トシテ最モ有望ノ品種トス眞餘ハ品質良好ナルモ果小ノ欠點
アリ獨逸亦豐産品質稍良好ナルモ黑星病ノ被害多ケレバ栽培者ハ充分注意ヲ
要スベシ長十郎ハ營利的品種トシテ他ニ比類ナク然レドモ自花受精ノ不可能
ナルモノナレバ混植ニ注意スベシ二十世紀ハ品質ニ於テ日本梨ノ霸王タルベ
ク然レドモ病蟲害ノ比較的多キノ欠點アリ晚生種ハ各種ノ障害アリ加フルニ
柿其他ノ果實産出スレバ收利少ナキヲ以テ餘リ栽培ヲ行ハザルヲ得策トス

西洋梨ニハ品種甚ダ多キモ良品ニ乏シク其成績ノ良好ナルモノハ「パイトレット」
「キートン」ドクトルジュールギユヨ「ジュツセスダングレーム」ノ數種ニシテ
キートンハ、ハ樹性强健栽培容易ナルモ品質不良ノ欠點アリ「ドクトルジュール
ギヨ」ハ豐産品質稍可良營利的栽培ニ最モ適當トス「パイトレット」亦同様ノ品
種トス近來洋梨ニ腐爛病ノ發生多キヲ以テ當業者ハ一層ノ注意ヲ要スベク且
該種ハ浦塩方面ヘノ輸出好望ナレバ小林原野ノ瘠薄地ヲ利用シ栽培スルハ好
個ノ事業タルベシ

三、

葡萄ノ種類試驗 本場葡萄ノ成績ハ年々良好ニシテ供試ノ品種ハ創設當時七
十有余ナリシモ其後成績不良ナルモノヲ除去シ目下三十五品種ニシテ從來ノ
成績ニ鑑ミ本年度ノ結果ヲ對照比較シ營利的栽培ニ適當スル品種ハ左ノ如シ

早生種 ゼシレカ(白) キヤムベルスロア(黒)

中生種 プライトン(赤) レデューワシントン(白) ナイヤガラ(白)

ハイバート(黒)

晚生種 ハイランド

四、

山梨縣ニテ早生種トシテ有利ナル「デラウエア」種ハ本年度新植シタルモノニ
シテ其他歐羅巴種ノ露地栽培ニ於テ相當結果シタルハ「ブラツクハムボルク」ズ
キートン「オスター」ユニグ等ニシテ營利的栽培トシテハ余リ望ヲ屬スル能ハズ
柿ノ種類試驗 柿ハ他種ニ比シ結果期ニ達スル年限長ク從來余リ結果セザリ
シモ本年ハ各種ヲ通ジテ非常ノ結果ヲナシ前述セル如ク縣下一般ノ不結果ニ
比シ盛ニ結果シタレバ參觀者ノ注目スル處トナリ肥培ノ忽緒ニ附スベカラザ
ルコトヲ痛切ニ感ズルニ至レリ其最モ成績ノ優良ナルモノハ次ノ如シ

甘柿 富有 次郎 天神御所 花御所 伽羅 正月 甘百目

澁柿 横野 最上 蜂屋 會津不知身

富有柿ハ甘柿中最モ成績良好ニシテ果形扁圓品質優良豐産ニシテ五、六十匁ノ
モノ一個四錢五厘ノ市價ニテ八年生一本ニシテ五、六圓ノ收入ヲ擧ゲタルモノ
アリ其他ノ品種ハ全部良好ニシテ只正月ニ於テ脱澁セザルモノアルハ少シク
欠点ナリ甘百目、伽羅ハ品質余リ良好ナラザルモ豐産ナレバ收利多シ
横野ハ果形大豐産最モ利益多ク其他ノ種類モ營利的栽培ニ適當スルモノトス

縣下ニ於ケル柿ノ品種ハ何レモ劣悪ニシテ收利少ナキヲ以テ此等良品種ヲ栽培改良スルコトハ刻下ノ急務ナレバ當業者ハ此等品種ノ栽培ニ努力スルコト肝要トス

五、枇杷ノ種類試験 供試ノ品種ハ合計七種ニシテ其成績ノ可良ナルハ田中茂木、ノ兩種ニシテ其他ハ結果少ナク或ハ結果多キモ品質不良ナルヨリ營利的栽培ニ適當スルモノ少ナシ

六、整枝試験 本年度ノ成績ハ前年度ニ於ケルト大差ナク桃ニ於テハ盃狀形最モ良好カンデラブル鳳尾狀ノ如キハ漸次下枝ノ枯損シ結果少ナキモノアリ梨ハ棚作最モ良好ニシテ果形整一品質良好ナルモ垣作ハ樹齡ノ増加スルニ從ヒ果形不揃ニシテ收量少ナシ「ピラミット」自然形ハ前二者ノ整枝ニ比シ稍々不良ナリ葡萄ハ棚作ニ於テ最モ豊産果房大ニシテ熟期均一收量最モ多ク垣作り棚作ニ比シ稍劣ルモ營利的方法トシテ適當セザルニアラズ從テ葡萄ハ兩者何レヲ採用スルニ差支ナカルベシ然レトモ發育旺盛ナル甲州「カトー」種ノ如キハ垣作トナストキハ結果不良ナレバ此等ハ歸メテ棚作トナスヲ得策トス其他ノ種類ニアリテハ何レモ盃狀形又ハ自然形ヲ以テ成績最モ良好トス

七、肥料試験 洋梨「キーフハー」種ニ付キ肥料ノ種類試験ヲ行ヒタルモ暴風雨ノ爲メ落果多カリシヲ以テ成績充分判然セズ葡萄ノ磷酸及加里ノ効驗試験ニアリテハ磷酸及加里分ノ多用ハ熟期ヲ早メ甘味ヲ増加シ之レニ反シ窒素ノ多キハ不熟果ヲ生ジ甘味少ナク品質不良ナリ、サレバ葡萄ノ栽培ニハ是非共磷酸及加里分ノ多用ヲ忘ルベカラズ

八、加里分ノ發根ニ及ホス關係試験 加里成分ノ多寡ニヨリ根ノ發生ニ如何ナル關係ヲ及ホスカヲ試験セントスルモノニシテ本年度養成シタル苗木中梨及桃ニ付キ可成同一ノモノヲ撰擇シ各種ヲ七區トシ十一月鉢植トシテ設計ニ從ヒ施肥試験ニ從事シタルモ翌年度ニアラザレバ成績判明セズ

九、金龜子驅除試験 八月八日金龜子發生前ニ於テ葡萄樹ニ對シ設計ニ從ヒ各種ノ藥劑ヲ撒布シタルニ左記藥液ヲ使用シタルモノハ完全ニ豫防スルコトヲ得タリ

- 一、三斗式石灰ボルドー液
- 二、石灰水一斗ニ生石灰三十匁ヲ溶解シタルモノ
- 三、三斗式石灰ボルドー液中ニバリスグリーン十匁ヲ混和シタルモノ

第一區及三區最モ成績良好ニシテ石灰水區之レニ次ギ且又既ニ發生シタルモノニ對シ右藥劑ヲ撒布シタルニ翌日ヨリハ一區ノ襲來ナク完全ニ驅除スルコトヲ得タリ

一〇、袋蟲驅除試驗

- 一、三斗式石灰ボルドー液一斗ニバリスグリーン十匁ヲ混和シタルモノ
 - 二、同 十五匁ヲ混和シタルモノ
 - 三、同 二十匁ヲ混和シタルモノ
 - 四、同 三十匁ヲ混和シタルモノ
 - 五、石灰水(水一斗ニ石灰三十匁)一斗ニバリスグリーン十匁ヲ混和シタルモノ
 - 六、同 十五匁ヲ混和シタルモノ
- 右ノ設計ニ從ヒ八月十五日柑橘、梨、桃ニ發生シタル袋蟲ニ撒布シ其後六日ヲ經テ調査シタルニ第四區乃至第六區ハ全部死滅其他ノ區ニアリテハ過半死滅シタリ然レトモ柑橘ヲ除クノ外ハ葉部ニ藥害落葉セリ
- 以上ノ成績ニヨリ袋蟲ハ完全ニ驅除シ得ルモ柑橘ノ外ハ藥害ヲ除去スル方法ヲ講究スルコト肝要トス

- 一一、葡萄黑痘病豫防液濃度試驗 黑痘病豫防トシテハ從來三斗式石灰ボルドー液ヲ使用シタルニ該濃度ヨリ薄キモノニアリテ效果如何ヲ試驗シタルニ四斗式ニアリテ完全ニ豫防スルコトヲ得タリ撒布ノ時期ハ落花後及果粒豆大ノ兩期ニ於テ行ヒタリ
- 一二、梨姬心喰驅除試驗 六月上旬一回袋掛ヲ行ヒタルモノハ八分被害サレ六月上旬袋掛ヲ行ヒタルモノニ對シ八月一日再度ノ袋掛ヲ行ヒタルモノハ殆ンド被害ヲ免ガレタリ且又六月上旬袋掛ヲ行ハズシテ七月下旬ニ行ヒタルモノハ過半被害ヲ免ガレタリ袋ハ何レモ和紙ニ澁引ヲナシタルモノニシテ新聞紙ヲ使用シタルモノハ被害一層多シ
- 一三、柿果蠹虫驅除試驗 富有柿ヲ使用シ撒布液ヲ前年度ニ從ヒ石灰硫黃合劑、バリスグリーン加用ボルドー液ノ兩種ヲ用ヒ六月二十七日、七月十日ノ二回ニ撒布シ被害ノ有無ヲ調査シタルニ、バリスグリーン加用區ハ被害少ナク七月上旬新聞紙ニテ袋掛ヲ行ヒタルモノハ全部加害ヲ免レタリ
- 一四、葡萄果貯藏試驗
 - 一、清水三合ニ對シ木炭二匁ヲ加ヘタル液中ニ結果枝條ヲ挿入シタルモノ

- 二、同液ニ枝條ノ下端ヲ燒キテ挿入シタルモノ
 - 三、清水三合ニ食鹽五匁ヲ混和シタル液中ニ挿入シタルモノ
 - 四、同液ニ枝條ノ下端ヲ燒キテ挿入シタルモノ
 - 五、清水三合ニタンニシ酸三匁ヲ混和シタル液ニ挿入シタルモノ
 - 六、清水三合ニ鹽化マンガン、二匁ヲ加ヘタル液中ニ挿入シタルモノ
- 右各區ニ葡萄ハイランド種ヲ使用シ試験ニ着手シタルモ成績未ダ判然セズ

二、果樹園ノ管理

四月ヨリ六月ニ涉リ病虫ノ發生最モ盛ナル時期ナレバ各種ノ藥劑ヲ使用シ之レガ防除ニ最メ摘果袋掛ヲ行ヒ六、七月以後ハ綠枝剪定ニ注意シ各種ノ收穫ヲ行フト同時ニ果實及枝梢ノ特性ヲ綿密ニ調査シ產品ハ出來得ル限リ各地ニ試賣シ荷造ノ方法及販路ノ研究ヲナシ夏季ハ最メテ除草ヲ行ヒ冬季剪定ハ接穂用ヲ除キ十二月十日ニ初メ十五日ニ終了シ此ノ際見習生及當業者ニ對シ懇切指導ヲナス剪定シタル枝梢落葉等ハ全部蒐集燒却ス棚作及整枝果樹ハ腐朽シタル柱及竹ヲ取換ヘ葡萄ハ外皮ヲ剝脱シ桃及梨ノ古木ハ丁寧ニ幹部ヲ磨擦古皮ヲ剝除シ以テ潜伏セル害虫ヲ

驅除シ然シテ土壤ノ風化作用ヲ促進セシムルト同時ニ害虫驅除ノ目的ヲ以テ園内一面ヲ耕起シ病害虫驅除豫防ノ爲メニ果樹園全部ニ對シ石灰硫黃合劑ヲ撒布シ其他成績不良ナル種類ハ掘採良種ヲ換植シ養成ノ苗木ハ十一月中旬全部ヲ掘取リ一々請求者ニ對シ配布ノ手續ヲ了シ漸次配布シツ、アリ

三、委託試驗

前年度ニ於ケル五ヶ所ノ委託試驗地中試驗ノ目的ヲ完了シタルモノヲ廢シ本年度殘存セルハ左記三ヶ所トス

柑橘ノ病害試驗	碧海郡櫻井村	神谷三次郎
柑橘ノ肥料試驗	渥美郡二川町	川合儀三郎
柑橘ノ剪定試驗	丹羽郡樂田村	吉廣富次郎

一、温州蜜柑落葉病豫防試驗
 全体ヲ八區ニ別テ各區ヲ三本ツ、トシテ其成績ノ優良ナルモノハ六月十日六月二十五日及六月十日七月七日ニ撒布シタル兩區ハ殆ンド被害ヲ免レタリ藥劑ハ三斗式石灰ボルドー液ヲ使用ス

一、温州蜜柑施肥時期試験

- 一、三月中旬ニ全量ヲ施ス
 - 二、三月六分 七月四分ヲ施用ス
 - 三、十月六分 三月ニ四分ヲ施用ス
 - 四、十月四分 三月六分ヲ施用ス
- 以上ノ各區中第一區最モ成績良好ニシテ第二區之レニ次キ第三區ハ果實小收量少ナク成績最モ不良ナリ

一、温州蜜柑肥料種類試験

練粕ニ骨粉加用區ハ色澤可良甘味多ク成績最モ優良ニシテ大豆粕ニ骨粉加用區之レニ次ギ大豆粕ニ過磷酸石灰加用區ハ酸味多ク成績最モ不良ナリ

温州蜜柑ノ剪定試験ニ於テハ無剪定區ハ隔年ニ結果シ且又品質不良ナルモ剪定區ハ其弊ナク兩者格段ニ相違ヲ來セリ

以上ノ如ク各試験地共成績至テ佳良ニシテ試験地設置ノ趣旨ニ叶ヒ直接間接ニ斯業ノ發展ヲ助成シ非常ノ好成绩ヲ舉クルコトヲ得タリ

四、家庭果樹園

前年度迄ニ設置シタル家庭果樹園ハ其數十二ヶ所ニシテ本年度ニ於テ新設シタルモノナシ是等既設ノ果樹園ニアリテハ園主ノ熱心經營セルノ結果何レモ成績良好ニシテ設立ノ趣旨ニ叶ヒ偉大ノ効果ヲ奏セリ其他農村宅地ノ改良風紀ノ改善等直接間接ニ豫想ノ効果ヲ奏シ殊ニ農村宅地改良ニ付テハ極力指導ヲ怠ラズ其結果各地ニ於テ實行ノ氣運ニ到來シ逐次良結果ヲ奏スルニ至ルベシ

五、花卉及温室

庭内ノ花壇ニアリテハ前年度三月各種ノ和洋草花ヲ植付四、五月ニ至リ美花爛漫トシテ參觀者ニ非常ノ趣味ヲ與ヘタリ又三月ニ播種セル春蒔種ハ數度ノ換植ヲナシ晚春春咲種ヲ掘採リ其跡地ニ定植シ培養手入ニ注意シ夏季各種ノ競フテ開花シ一層ノ風致ヲ添ヘタリ初秋苗圃ニ養成シ置キタル小菊ヲ再ビ其跡地ニ植付終年花卉ノ絶ヘヌ様周密ノ注意ヲナシ且又秋蒔種子ハ苗圃ニ下種シ今ヤ整然ト移植ヲ了シ發育可良ナリ此等ノ各種ノ種子ハ全部採收シ別項記載ノ如ク各方面ニ配布シ殘苗ハ島メテ一般ニ交附シタリ

花卉温室ニハ前年度ニ養成シタルモノ或ハ新品種ヲ購入綿密培養シタル結果ゼラ

ニム、シネラリヤ、其他百花ノ爛漫トシテ非常ノ美觀ヲ添ヘ此等植物ハ夏季ニ至リ外部ニ搬出シ十一月初旬植換ヲ行ヒ室内ニ搬入シ培養手入ニ注意シ目下多少開花シツ、アリ各種ノ種苗ハ出來得ル丈養成シ一般希望者ニ分譲セリ

温室葡萄ハ本年度迄植後三年ヲ經過シタレバ各種共相當ニ結實シ美果累累タルノ狀ハ參觀者ニ好參考タルヲ得タリ左ニ其收量ヲ示スベシ

品 種 名	總房數	全收量	一貫匁ノ市價	總收入
フオスターシトドリング	一八	七七五	二、五〇〇	一、九三八
マスカットハムボルグ	三	一二八	三、〇〇〇	三五四
ブラツクハムボルグ	九	七二五	三、〇〇〇	二、一七五
トムリンシードレス	三	八七	—	—
マスカットアレキサンドリヤ	一五	六七二	六、〇〇〇	四、〇三二
グロイコルマン	一六	八一四	四、〇〇〇	三、二五六
ゴールデンクイン	四	一六七	四、〇〇〇	六六八

備考 右ハ各一本ニ對スル最大收量ヲ示シタルモノナリ

以上ノ如ク三年生ニシテ一本四月以上ノ收入ヲ舉ゲタリ今後三年ヲ經過シ樹

姿ノ完成シタル後ハ其收量甚ダ多キニ至ルベシ

六、柑 橘 園

本年度ノ新事業トシテ知多郡大府町ニ新設シ其面積三反歩内二反歩ハ四月新植シタルモノニテ一反別ハ既植ノ温州蜜柑ニシテ肥料其他ノ試験ハ翌年度ヨリ開始ノ豫定トス新植ノ品種ハ次ノ如シ

- 温州、早生温州、伊豫、紅、八代、九年母、旭、薩摩文旦、税田、平、鳴門、
- 絹川、齊端、天狗、長、日向、三寶、レモン、メデタランアンズキイト、セン
- トミケール、ナベレニシヤ、ジャツフアイ、ゴールデンナゲツト、バレンシヤ
- レイト、トムソンネーブル、ワシントンネーブル

既植温州ハ剪定施肥ニ注意シ相當ニ結果シタレバ十一月三十日全部ヲ採收貯藏シタリ

七、苗 圃

本年度場外ニ三反歩ノ苗圃ヲ設置シ一反ニ對シテハ柿ノ砧木ヲ植付タルモ炭疽病

ノ爲メ過半被害サレ残りニ反歩ニハ左記ノ通り嫁接シタル各種ヲ植栽ス

桃	三千二百四本
梨	一千百七十一本
枇杷	九百八十四本
葡萄	四千本
無花果	七百本
合計	一萬〇五十九本

此等ノ苗木ハ夏季數度ノ施肥除草ヲナシ十一月中旬大部落葉シタルヲ以テ掘採順次請求者ニ交附ス

八、種苗配布

本年度ニ於テ配布シタル種類及數量左ノ如シ

一、果樹苗木

種類	嫁接本數	養成本數	配布本數	試驗用
梨	一、八〇六*	一、二四四	一、一六一	八〇三

桃	四、八九三	二、八三六	二、五九六	二四〇
葡萄	四、八二六	一、三三一	一、三一二	—
無花果	七〇〇	二六三	二六二	—
枇杷	九八四	七一一	四五八	二五三
柿	四、一〇〇	四、一〇〇	四、〇〇〇	一〇〇
梅	二、九六二	二、四二九	二、四二九	—
合計	二〇、二七一	一二、八九四	一九、五九五	六七六

備考 柿ハ中島郡千代田村ノ信用アル養成者ニ接穂ヲ交付シ養成セシメタルモノナリ

二、草花種子

種類名	袋數	種類名	袋數
孔雀草	一二〇	アキラシタス	一〇〇
百日草	一二五	アゼラタム	二〇〇
天人菊	一二五	サルビア	三
八重孔雀草	一二〇	ベチニア	二〇

千日草	一二五	飛燕草	二三
アスタ	一二〇	松虫草	一五
ハルシヤ菊	一二五	姫日向葵	二〇
朝顔	一二〇	撫子	六五
鳳仙花	六〇	紅蜀葵	五
具細工	二〇〇	雛菊	一五〇
リナリヤ	二二〇	金雞菊	一五〇
具美人草	二二〇	矢車草	二〇〇
花菱草	二〇〇	金盞花	一五〇
勿忘草	二〇〇	ジキタリス	二二〇
シヨルダカーリフナルニヤ	一五〇	白花ケシ	二二〇
アスベルラ	一五〇	バンシ	二〇〇
蔓櫻草	二二〇	フロックドラモンデー	二二〇
スキートビー	五〇	リムナンテス	五〇
福アラセイト	五〇	八重撫子	五〇

シネラリヤ 一五〇
 カンパニユトラ 一五〇
 合計 四十二品種 五千二百〇三袋

一、試験事業

- 一、茄子品種試験 縣下在來ニ品種及輸入セシモノ六品種ヲ加ヘ施行シタルニ品質形狀共ニ宜シク且收量多キハ橋田種ニシテ中生長之ニ次キ輸入品種ハ成績不良ナリ
- 二、茄子畦巾株間廣狹試験 前年度同様畦巾二尺株間一尺五寸區收量最多ク是以上畦巾株間ヲ廣クスルモ其割合ニ増加スルモノニアラザルコトヲ確認スルヲ得タリ
- 三、茄子整枝法試験 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ個數ニ於テ收量最多モ多カリシハ四枝ヲ出シ他ヲ除蕪セシモノニシテ重量ニ於テ多カリシハ二枝ヲ出シ他ヲ除蕪セシモノニ位ヲ占ム而テ三枝ヲ出シ他ハ除蕪セシモノハ個數重量

共ニ第二位ニアリシモ前年度同様本區ヲ以テ摘芽ノ標準ト定ムルハ至當ナラ

四、蕃茄品種試験

前年度ニ引續キ十一品種ヲ以テ施行セリ其結果收量ニ於テハ「アーリアナ」「ウインタービューチー」「ジュンピング」最モ多ク品質ニ於テハ「ジュンピング」「ベストオブオール」「リリムソソ」カツシヨシ「優良ナリキ故ニ」「ジュンピング」「アーリアナ」「ベストオブオール」ハ何レモ有望ナル品種タルヲ認ム

五、蕃茄整枝法試験

大正三年度ヨリ引續キ施行セシニ何レモ同一ノ結果ヲ得タリ即チ株間ヲ狭少ニシ摘心セズ一本立ノモノ最モ收量多ク多枝ヲ出スハ定植株數ノ減ズル爲メ結實數少ナキモノナルコト株間七寸一本立區ノ收量多キヲ以テ明ラカナリ

六、胡瓜品種試験

優良種十種ヲ蒐集シ施行セリ其結果當場在來三枚目節成、青節成、白節成、聖稜院等收量多ク品質形狀ノ佳良ナルハ聖稜院鳥込毛馬ニシテ何レモ有望ト認メタリ

七、南瓜品種試験

前年度全様九種ヲ以テ施行セシモ何レモ自然交雜ヲナシ甚ダシク個有ノ形狀ヲ失ヒ確實ニ其性能ヲ知ルニ困難ナルモ「須賀菊座」「ジキ」「津山收

量最多シ

八、越瓜品種試験

供試ノ種類ハ八品種ニシテ其結果高田、黒川ノ二種最收量多カリシモ輸入種ハ何レモ肉質柔カク枇杷島市場ニ於ケル氣受最悪シク到底在來種ニ及バザルコト遠ク現在需要者ノ嗜好ヲ一變スル能ハズト雖前二種ノ如キハ有望ナルヲ認メタリ

九、西瓜品種試験

八種ヲ以テ施行セシニ「アイスクリーム」收量品質共優良ト認メタリ

一〇、瓜守豫防試験

前年度ヨリ更ニ十區ヲ増シ二十一區ヲ以テ施行セリ其結果「ベボライト」及「大正式」驅虫劑ヲ根元ニ撒布セシモノ「及」「油紙」ヲ敷キタルモノ「ニハ」幼虫ノ寄生ヲ見ズ且被害ヲ免ル、ヲ得タリ殊ニ「油紙」ヲ敷キタルモノ「ハ」根ノ發育ヲ促シ生育ヲ促進シ一舉兩得ニシテ最有効ナル豫防法ナルコトヲ發見シタリ

一一、枝豆品種試験

本年度神奈川縣産大豆十種ヲ取寄セ在來種一種ヲ加ヘテ比較施行セシニ「生娘」ヲ除ク外何レモ晩生ニシテ莢ノ着生少ナク枝豆ニ適セザルヲ以テ本年度優良種ヲ集メ試験ノ完成ヲ期セントス

- 一二、落花生品種試験 目下收量調査中ナレバ成績判明セズ
- 一三、山東白菜三要素適量試験 二十區ヲ以テ施行セリ其結果窒素ハ四貫匁施用區最收量多ク五貫匁六貫匁施用區之レニ次ギ磷酸ニアリテハ二貫匁施用區最收量多ク四貫匁之レニ次ギ亦加里ニアリテハ五貫匁施用區收量多ク六貫匁施用區之ニ次グ要スルニ窒素ハ施肥量多キ程始メノ生育旺盛ナルモ却テ病虫ノ被害程度大ナルヲ以テ四貫匁以上施用セシ區ノ收量少ナキハ之レガ爲メナリ亦磷酸ハ二貫匁ヲ適量トシ加里ハ五貫匁乃至六貫匁迄ハ收量ヲ増加セシムルモノナリ
- 一四、山東白菜肥料比較試験(其一) 前年度ニ引續キ鯨粕、大豆粕、人糞尿、菜種粕ノ四種ヲ以テ施行シ其結果大豆粕區收量最多ク菜種粕、人糞尿區之レニ次ギ鯨粕區收量最少ナキヲ示シ前年ト反對ノ成績ヲ現ハセリ尙試験ヲ續行シ明確ヲ期セントス
- 一五、山東白菜肥料用量試験 前年度ヨリ引續キ施行セシモノニシテ其結果二割増區最收量多ク五割増標準區之レニ次ギ以下用量ノ減少スルニ從ヒ收量少ナキヲ示セリ而テ五割増區ノ却テ二割増區ニ比シ收量ノ少ナキハ一ハ病虫ノ被

害大ナル爲ナリトハ言ヘ施肥量ト收量トハ必シモ相伴フモノニアラズ

- 一六、山東白菜肥料比較試験(其二) 前年度ヨリ引續施行セシモノニシテ硫酸安母尼亞ト智利硝石トノ優劣ヲ比較セントスルニアリ其結果前年ト同様智利硝石ノ方收量ニ於テ多キヲ示セリ
- 一七、山東白菜大豆粕生腐比較試験 前年度ヨリ引續キ施行セシモノニシテ本年度ノ結果ハ原形ノ儘施與セシモノ最收量多ク土壤ト混合シ使用セシモノ及浸水腐敗セシメ施與セシモノハ却テ收量少ナク前年ト反對ノ現象ヲ呈セリ尙試験ヲ續行シ正確ヲ期セントス
- 一八、結球白菜品種試験 供試ノ種類ハ五品種ニシテ收量最モ多キハ金州白菜ニシテ山東白菜之レニ次ギ結球ノ最モ完全ナルハ山東白菜ニシテ金州白菜、芝罘白菜之ニ亞ゲリ
- 一九、不結球白菜品種試験 十二種ヲ以テ施行シ其結果原產地直隸白菜最モ收量多ク内地產直隸白菜、開城白菜之ニ次ギ何レモ優良種ナルヲ認メタリ
- 二〇、山東白菜、人糞尿消毒劑被害試験 前年度ヨリ引續キ施行セリ其結果「クレシ」及「テシン」共各區何レモ直接ノ被害ヲ認メズ且無混合區ノ收量最少キハ奇異

ナル現象ト言ハサル可ラズ然レドモ之等消毒劑ノ混入量多キ程收量減シタルヲ以テ見レバ消毒劑混入ノ量多キ程肥料効驗ヲ減殺セシムルモノナルコトヲ見タリ

二一、葱品種試験 未試験完了セズ

二二、葱畦巾廣狹試験 全

二三、葱病害豫防試験 全

二四、葱覆土期試験 全

二五、蕪菁品種試験 九種ヲ取寄セ施行セシニ種子ニ不完全ナルモノアリ且白斑病ノ被害ハ著ルシク爲メニ直チニ之レガ良否ヲ決定スルコト難キモ湖南、津田聖護院等優良ナルヲ示セリ

二六、花椰菜品種試験 サットン商會直輸入種子十一種縣下採種ノモノヲ加ヘ十ニ種ヲ以テ施行セリ結球最容易ニシテ收量ノ多キハ「ミケルマスホワイト」ニシテ「リーデングジアアアンド」スタンダードニル之レニ次グ

二七、蠶豆品種試験 前年同様七種ヲ以テ施行シ多年栽培ノ結果品種交雜セシヲ以テ前年ト稍々成績ヲ異ニスルモ「グリーンロンダボット」最收量多ク「グリーン

ジャイアント」「マンモ」「スロングボット」之ニ次グ

二八、豌豆品種試験 實收用種十五種ヲ以テ施行セリ其結果收量多キハ「ブラツクアイ」ニシテ「エキストラアイ」「リーエデブルブラツテッド」「白花實」「青實」「佛一號」ノ順位トス

二九、豌豆連作試験 五年連續試験セルモノニシテ糞灰百貫匁加用區生育稍良好ニシテ五十貫匁區之ニ次ギ二十五貫匁區最不良ナリシヨリ見ルモ糞灰ノ施用ハ豌豆ノ連作ニ効驗アルコト明ナリト雖連作ニ依リ如何ニ糞灰ヲ施與スルトモ充分ノ收穫ヲ擧グ得ルハ困難ナルヲ知リタリ

三〇、葱頭品種試験 十種ヲ以テ施行セリ其結果當場改良黃、エロースキン、佛十號種等ハ有望ナルヲ確認セリ

三一、葱頭畦幅株間廣狹試験 前年度ヨリ引繼キ施行セリ其結果畦幅株間ノ狭小ナルニ從ヒ球ノ發育十分ナラザルモ重量ニ於テ最收量多キハ三尺畦巾ノ四列植株間六寸區トシ全株間五寸之レニ次グ

三二、葱頭苗ノ良否試験 前年ト同様施行ス本年度ハ一般ニ生育充分ナラザリシ爲メ各區共殆ンド抽苔ヲ見ズ故ニ太キ苗程收量多キヲ示セリ

三三、甘藍品種試驗 十三種ヲ以テ施行セリ其結果、プレミアムグラットダッチ及野崎種最收量多シ

二、試作

菜豆、鵲豆、馬鈴薯、玉蜀黍、胡蘿蔔、牛蒡、甜瓜、冬瓜、扁蒲、糸瓜、苦瓜、茄子、蕃茄、茼蒿、萹荳、甜菜、洋芹、塘蒿、蒲公英、野蜀葵、九葉大黃、葱頭料理菊、蕨、マツナ、朝鮮蓴、オクラ、水前寺菜、陸山葵、蕒菜、薯蕷、芋、蕪蘿門參、亞米利加防風、菘、蓂荷、セージ、分葱、シロゲル、カトニツブチユリ、アブランドクレツス、山椒、タイム、ニンニク、ペワバ、菜菔、休菜類、漬菜類、石刀柏、甘蔗、西瓜、觀賞南瓜、慈姑、江南竹、韭葱其他藥用植物十數種等ヲ試作シ優良ト認メタルモノハ採種増殖ヲ圖リ種苗ノ配布ニ努メタリ

三、輪作標準栽培

四十三年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ全面積二反八畝歩ヲ二十四區ニ劃シ各區一畝歩トシ七年輪栽五年輪栽三年輪栽ニ別テ輪作ノ方法並ニ栽培法ノ標準ヲ示シ

且經濟上ノ調査ヲナサントスルモノニシテ之レニ栽培スル蔬菜ハ縣下重要ナルモノ及試驗ノ結果優良ト認メタル品種ヲ以テセリ本年栽培セルモノ左ノ如シ

七年輪栽

區別	冬作	春作	夏作	秋作
第一區	葱頭	青芋	夏作	漬物大根
第二區	麥	甘藷(玉蜀黍)	宮重大根	
第三區	甘藍	胡蘿蔔	麥	
第四區	大高菜	夏葱	若牛蒡	十月蒔甘藍
第五區	麥	晚生茄子	春福大根	
第六區	麥	西瓜	山東白菜	
第七區	蠶豆	五月蒔甘藍	麥	

五年輪栽

區別	冬作	春作	夏作	秋作
第一區	麥	蕃茄	開城白菜	十月蒔甘藍
第二區	葱頭	薑		麥

第三區	麥	梨瓜	方領大根	麥
第四區	麥		鵲豆(玉蜀黍)	麥
第五區	甘藍	葱	芝罘白菜	麥
三年輪栽 (甲)				
區別	冬作	春作	夏作	秋作
第一區	大高菜	馬鈴薯	菜豆	花椰菜
第二區	麥	胡瓜		大治蕪菁
第三區	麥	胡瓜		山東白菜
三年輪栽 (乙)				
區別	冬作	春作	夏作	秋作
第一區	胡蘿蔔	葱		麥
第二區	麥	蕃茄		蒺藜草
第三區	麥	越瓜		芝罘白菜

以上ノ外石刁柏、土當歸、款冬ノ累年作物ヲ栽培ス就中收益多カリシハ蕪菁、梨瓜、方領大根、山東白菜、款冬等トス

四、促成栽培

一、茄子澆水量試験 澆水量ノ多少ガ促成茄子ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ試験セントスルモノニシテ第一區ハ毎日一框ニ付半荷ヲ澆水シ第二區ハ隔日ニ半荷ヲ澆水シ第三區ハ毎日一荷ノ四分ノ一ヲ澆水セシモノトニ區別施行シタルニ第三區最收量多ク第二區之レニ次ギ第一區收量最尠ナキヲ示セリ之レヲ以テ見レバ澆水量ハ稍少ナキ方結果多キヲ示セリ

二、醱熟材料比較試験 五區ヲ以テ施行セリ其結果第五區ノ床底ニ土管ヲ埋メ綿屑七十貫匁十五貫匁使用セシモノ最モ熟ノ持續永ク收量多シ

其他、茄子、胡瓜、菜豆、鵲豆、冬瓜、萹、蕃椒等ノ各種ヲ試作ス

五、硝子室栽培

マスクメロン、胡瓜、蕃茄、越瓜ノ各種ヲ試作シタルニ、マスクメロン成績最モ良好ニシテ六月頃ハ百匁壹圓ノ高價ニシテ大果ニ至リテハ一個優ニ參圓以上ニ賣却シ七八月頃ハ參拾錢位ナルモ一個七百匁位ノ大果アレバ貳圓以上ノ價格ヲ保チ收利甚ダ

多ク營利的栽培トシテ立派ニ經營シ得ルコトヲ確認シ且又參觀者ニ對シテハ好參考タルヲ得タリ胡瓜、蕃茄亦相當ノ成績ヲ舉ゲタリ

六、軟化栽培

野蜀葵 塘蒿ノ軟化ヲナス前年ニ比シ一層優品ヲ得タリ

七、委託試驗

前年度ニ引續キ西春日井郡六郷村大字大幸ニ於テオータークレス及水芹ノ委託試驗ヲナスオータークレスハ前年ニ比シ生育ヨク收穫多カリシモ未ダ販賣スルニ至ラズ水芹ハ土壤淺キ爲メ發育充分ナラズ收穫スルニ至ラズ

八、委託採種

種 類	地 名
宮 重 大 根	西春日井郡春日井村大字落合
方 領 大 根	海部郡甚目寺村大字方領
大 治 蕪 菁	同 郡大治村大字長牧

本年度ニ於ケル種苗配布數量並ニ人員左ノ如シ

九、種子配布

雪 白 体 菜	中島郡稻澤町大字稻澤
開 城 白 菜	同 郡祖父江町大字三九淵
午 勞 莖	丹羽郡古知野町大字両高屋
胡 蘿 蔔	同 郡布袋町大字寄木
山 東 白 菜	愛知郡荒子村大字中須
梨 瓜	同 郡笠寺村大字鳴尾
胡 瓜	碧海郡旭村大字前濱新田
花 椰 菜	知多郡横須賀町字横須賀
葱 頭	同 上
甘 藍	西春日井郡清洲町字清洲

品 名	數 量	配布人員	品 名	數 量	配布人員
山東白菜	五 ^升 五〇	四九〇 _人	蠶 豆	三、〇〇〇 ^升	二〇 _人

方領大根	四、〇〇	四九〇	花椰菜	〇、〇二	二〇
宮重大根	五、〇〇	四九〇	馬鈴薯	三、〇〇	六
大治蕪菁	二、〇〇	三五〇	午莠	〇、二〇	六〇
開城白菜	一、五〇	三〇〇	胡蘿蔔	二、〇〇	八五
甜瓜	八〇	二一〇	葱	五〇	二一五
雪白体菜	一、〇〇	二〇〇	甘藍	二、〇〇	二〇五
豌豆	二、〇〇	一一二	越瓜	一、〇〇	六五
南瓜	四、〇〇	一六〇	茄子	三、〇〇	二二〇
蒺藜草	二、〇〇	一五	蕃茄	一、五	一二五
パセリ	一、〇〇	一二	胡瓜	五、五	一七二
波羅門參	一、二二	一〇	高菜	〇、八	二二三
菜豆	四、五	五二	促成茄子	〇、五	一五
塘蒿	〇、五	九	土當歸苗	三、〇	五
大黃苗	一、〇*	二	鵲豆	五、五	七五
欖冬	二、〇*	三	玉蜀黍	二、五	五一

促成茄子苗	六〇〇	一一	甘藍	三、〇	一一
葱頭苗	一、〇〇〇	一五	茄子苗	一、二五〇*	二四
梨瓜	一〇	二〇〇	西瓜	一、〇〇	二四六

溫室

(愛知縣商品陳列館内)

一、本年內ニ施行セシ業務ハ殆ンド前年ノ繼續ニシテ左ノ如シ

一、花卉種類試験

本年試培ニ供セシ種類ハ温室花卉ニ有リテハ四百十九品種鉢數三千三十個露地花卉ニ有リテハ四百十四品種ニシテ左ノ如シ

種名	品種數	鉢數	種類	品種類	鉢數
ゼラニウム	七〇	七〇八	ブリムラ	四	九〇
コリユリス	一	五	レクラメン	一二	一八〇
サイネリヤ	一	五〇〇	モスコスマーリパキユリス	一	二〇
グロキシニヤ	四	一五〇	カルセララリヤ	一	五〇

ヘンリ	エロイセマム	シルタス	ソランドラ	アカリフアト	エリスリナイインガカ	ヒビスカス	アブチロン	溶	君子	鶴頂蘭	ドラセナ	フイニツクス	マナネガヤ	ムラサキオモト
一	一	一	一	三	一	八	一	一	二	一	五	一	一	一
一	一	一	一	一	二	三七	一	一	八	九	三	三	一	二
ランタナ	アリカルテアナ	クロト	ハイドラシヤ	ブレシデント	ブーケンベリヤ	マツリカ	カルルステモン	サンセベリヤ	和蘭	パンダチ	ケンチヤ	ゴラニ	マラニ	シベラ
三	一	七	一	一	一	一	一	三	四	一	一	一	二	二
二〇	一	二	五	一	五	五	一	一七	八	九	二	二	七	九

ペリオナ	カーネション	アキメネス	チラントレヤ	セントボリヤ	クリブタンサス	クレロデンドロン	モンステリアシチ	パニカム	メラストマサンギニ	ヒゴウカン	アイトニヤ	ブツトレヤ	ポインセチヤ	ヘリョートロツブ
一	一	一	二	一	一	二	一	一	一	一	一	一	三	一
五	〇〇	五	六	四	二	一	四	五	三	一	二	六	一六〇	一五
カラヂユム	ベベロシヤ	仙人掌	パイオレット	ライラツク	ブランバコ	クロサンドライ	フアンデスホーニス	タニワタリ	イソレビス	アリストロキヤエレガンド	番石榴	シヤコベルニヤベルチア	シヤクマンニ	ヒトケシヤマスコサ
一	一	三〇	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一五	三	五〇	五五	二〇	五	四	一	一	四	三	一	四	一	三

アスバラガス	五	四四	ネフロレビス	二	五
アジアンタム	三	五七	ピチスヘンリ	一	一
ストレプトカーパス	一	五	シムラ	一	四〇
フリジヤ	三	五〇	カトレヤ	一七	三七
デンドロビユム	二〇	四六	ジブリベヂユム	三八	七〇
オンジヂユム	一四	二一	パンダ	四	六
ツブラリヤ	一	一	セロジネ	一〇	一八
エビデンドラム	四	六	スコンバキヤ	二	四
スタンボベヤ	三	七	レリヤ	七	四
カタセタム	一	一	ランドロキラム	一	一
ミルトニヤ	三	五	オドントグロツサム	三	四
エリデス	二	二	ファシノプレス	五	七
レナンセラ	二	一〇	ナゴラン	一	八
カランセラ	三	八	ツミヤ	一	二
アンツリユム	九	一七	リカステ	二	二

シンビユム	三	一二	ブラサボラ	一	一
アングレカム	二	二	クレイソストマ	一	一
ブラソカトシヤ	一	二	チン	一	一
バルホフヒラム	三	三	サツコラビユム	一	一
ネベンセス	一	一	ケレラ	一	一
種名	品種数	種名	品種数	種名	品種数
ヒヤンス	五五	チユリツブ	一一五	アネモネ	二
レナンキュラス	三	トリトニヤ	六	クロルカス	一五
ウアビアナ	一	シラ	一	グラジラ	五
リ	一〇	アマリリス	三	ダリヤ	二五
コンバラリヤ	二	チユベロ	一	チクリヂヤ	五
バロツタ	一	イリス	一	ナイシツサ	三
ムスカリ	二	オニソガラム	一	オキザリス	二
アカバンサ	一	パンシ	一	デ	二

二、花卉ニ對スル花粉交配試験 新品種ノ作出ニ就キテハ種々ノ種類ニ對シ交配ヲ施行シツ、アレドモ實ニ良品種ハ得難クシテ本年僅ニゼラニユームニ於テ稍々優良ト認ムベキニツノ新種ヲ作出セリ

コ	キ	ア	一	アルメリヤ	一	パーベナト	一
サル	ヒ	ヤ	二	アキラシタス	一	金魚草	二
コス	モ	ス	一	金蓮花	一	ハルシヤ菊	一
カレン	チ	ユ	一	セントウレヤ	一	セントランサス	一
ロベ	リ	ヤ	一	デルヒニユーム	一	松葉牡丹	二
石		竹	一	アンモビユーム	一	カツコアザミ	一
ウエル	フラ	ツ	一	ルビナス	一	クリサンセマム	一
鳳	仙	花	一	雁來紅	一	マリゴルド	一
菊			五	洋種芍藥	五	ドロデンドロン	一
ツ			一	藤	三	梅	三
櫻			三	牡丹	一〇	バ	二〇
睡	蓮		一〇			ラ	

三、花卉早咲試験 近來花卉ノ需用ニ伴ヒ農家ヲ始メ花園等ニ於テ一般行ヒツ、アレドモ猶設備ノ不完全ナルト技術ノ未熟ナルヲ以テ好成績ヲ得ルニ至ラズ當部ニ於テハ鉢植ノ梅櫻、躑躅、木瓜、百合、フリジヤ、牡丹、木蓮、夏菊、椿、ノ十種ヲ以テ施行中ニシテ各種類及其品種ニ依リ開花ニ早晩有レドモ總テ休服期ヲ經過シテヨリ促成セザレバ効果少キ様ナリ

四、切花用花卉栽培試験 本試験ハ切花ニ適スル左記三十五種ニ就キ其性狀及播種期開花期花丈等ヲ試験セシモノナリ

種名	性狀	播種期 株分期	開花期	花丈 ケ
百日草	一年草	春	七月十月	一、五—三、〇
孔雀草	同	同	六—十月	一、五—三、〇
サルヒヤ	同	同	七—十月	一、五—三、〇
モンソフレシヤ	球	同	七—八月	二、〇—三、〇
クラジヲラス	同	同	六—七月	二、〇—三、〇
ダリヤ	同	同	六—十二月	三、〇—五、〇
花菖蒲	宿根	秋、春	五—六月	二、五—三、五

六、マヌケメロンノ種類試験 花卉温室ニ於テハ夏季間ハ殆ンド室外ニ植物ヲ出
 スヲ以テ其利用法トシテメロンノ栽培ヲ行ヒシモノニシテ供試種類ハピーロ
 ーオフロツキンダグ、サツトンス一號、ベストオプオール、リンググリーダノ四種ニ
 シテ五月一日蒔六月五日定植ヲ行ヒ追々結實ヲ見ルニ至レドモ、ダコニ及蚜虫
 ノ被害甚シク遂ニ排スルニ至レリ

七、歐洲葡萄及熱帶果樹ノ試作 葡萄ハ温室ノ位置及土質等宜シカラザルヲ以テ
 好成績ヲ舉ルコト能ハズ、バナハ結果セシカド温室内ノ温度昨年ニ比シ平均
 十度余ノ底キヲ以テ充分成育セザリキ、バベヤ、バインアップルノ夏季結實スル
 モノハ成績良好ニシテ縦覽者ノ目ヲ引ケリ

八、秋蒔種子配布

種名	數量	種名	數量	種名	數量
シネラリヤ	一五〇	プリムラシネンシス	四〇	プリムラキエエンシス	一〇〇
シムラス	三〇	バトスレツトカ	三〇	ロベリヤ	二〇〇
ベコニヤ	五〇	ゼラニユーム	五〇	フリジャ	三〇
グロキシニヤ	三〇	セントランサス	一〇〇	倭性石竹	七〇

石	竹	一〇〇	カーネーション	四〇	バービナー	七〇
金	花	一〇〇	パンジー	二〇〇	ウエルフラワー	二〇〇
スイートピー		八〇	リナリヤ	一〇〇	デルヒニユーム	七〇
アネモネ		二〇	矢車草	五〇	シレネ	五〇
合計		二十四種	一千九百六十袋			

當温室部ハ市街ノ中央ナル商品陳列館内ニ在リ其構造モ裝飾室的ナルヲ以テ
 専ラ公衆ノ縦覽ヲ主トシ觀覽者ヲシテ熱帶植物ノ生育状態及諸外國ノ觀賞植
 物ヲ縦覽者ニ知ラシメテ趣味ヲ感起セシムルニ有リ且近來輸出向工業ノ發達
 ニ伴ヒ其圖案ノモデルニ迄利用セラル、ニ至レリ

畜産部

一、養鶏試験

一、産卵増進試験 前年度ヨリ繼續施行スルモノニシテ名古屋交趾種ノ改良ヲ圖ルヲ以テ目的トシ本年度ハ第六代鶏ノ産卵能力ヲ調査シ更ニ異系統種陶汰ノ目的ヲ以テ普通系名古屋交趾三十五羽ヲ撰拔シ各鶏共「レグバンド」ヲ附シ「トラブネスト」ヲ使用シテ其ノ産卵能力ヲ調査セリ兩系ノ比較左ノ如シ

六代 鶏

平均産卵一二四個最多産卵鶏一六四個

初代 鶏

八ヶ月間産卵平均九十六個同百〇九個

二、飼料經濟試験 左記配合ニ依リ産卵健康、肥肉等ノ状態ヲ比較試験セリ

(一)供試鶏雌十羽

(二)飼料配合

第一區	米ノ芽	米糠	大豆粕	麥糠	菜種粕	鯨粕	青菜
第二區							
		七、五	二、五				
		一一、〇	三、〇				

第三區

一一、〇

〇、五

一、〇 三〇〇

第四區

一一、〇

三、〇

一、〇 三〇〇

第五區

六、〇

一、五

一一、〇

〇、五 一五〇

右ニ依レバ第三區最モ優秀ニシテ第一區最モ劣等ナル能力ヲ示シ健康上ニ於テハ第四區優秀ナル成績ヲ示セリ

尙本試験ハ開期中「ジレテリヤ」病ノ爲メニ鶏ノ健康ヲ阻害セラレシコトアリタル爲メ本成績ヲシテ最モ確實ナリト云フヲ得ザレバ更ニ來年度ニ於テ同様ノ試験ヲ試ミ正確ナル成績ヲ得ントス

三、肥育試験 廢雄ノ利用トシテ或ル期間或長ヘシモノヲ去勢シ之レニ補食器ヲ

以テ消化シ易キ流動餌ヲ給シ其肥肉歩合、肉質ノ硬軟、風味ノ善惡ヲ比較セリ

右ノ成績ニ依ルニ肉質ハ柔軟ニシテ風味宜シク能ク人類ノ嗜好ニ適スルヲ知

リ得タルモ未ダ肥育ノ方法不完全ノ爲メ經濟上ノ價值乏キヲ認メタリ

四、種禽種卵配布 本年ニ於テ配布セル數量左ノ如シ

種禽類	種禽拂下數	全人員	種卵拂下數	全人員
名古屋交趾	三三三	二五	一七九七	九二

白色レグホーン	七〇	一八	七二四	五四
褐色レグホーン	一	一	一四二	一三
黒色ミノルカ	七	二	二六一	二四
銀色ハンバーク	一	一	二八九	二七
白色ワイアンドット	一	一	一〇六	一二
横斑アリマウスロツク	一	一	二三五	一九
アンタルシヤン	一	一	二六一	二七
七面鳥	一	一	八三	七
<small>銀色ハンバーク雄對 名古屋交趾雌ノ一代雜種</small>	一	一	九四	一一
ウヰダ	一	一	一	一
軍鶏	一	一	二二	二
支那鶩	一	一	一六	三
合計	四〇〇	四六	四〇二〇	二九一

二、委託試験

本場ニ於ケル種禽種卵ノ不足ヲ補足センガ爲メ左記ノ二ヶ所ニ委託シ嚴密ナル監督ヲナシ其ノ配付ヲ行ハシム(碧海郡農會(丹羽郡岩倉町關戸金次郎))

三、養豚

副業獎勵並ニ自給肥料生産ヲ促ス爲メ種豚ヲ養成シ仔豚ノ拂下ヲ行ヘリ本年度ニ於テ分挽セシ頭數量並ニ配付數量左ノ如シ

種類	バークシヤ
分挽數	一九頭
拂下數	一七頭

雜ノ部

一、出張

本年度中場員出張左ノ如シ

出張ノ種類	回数
農事講話	一六三
同 實地指導	一一四
同 調査	六
業務調査	四五
養鶏講話	一三
委託試験地監督	六
品評會及共進會審査	一九
原種圃用務	九〇
農事視察	二

献穀田用務 六
 其他 三五四
 病害蟲豫防驅除督勵 三〇
 計 六四八

三百八十八件 内百九十七件本
 百九十一件種藝部

二、印刷物

果樹良品種 三百枚
 果樹施肥標準表 三百枚
 肥料ト用量 千枚
 大正四年度業務功程 五百部
 粉ノ色彩 五百枚
 縣下ノ稻種 百五十部
 石灰窒素施用ニ就テ 五百枚
 果樹ノ肥料 千部

三百枚
 三百枚
 千枚
 五百部
 五百枚
 百五十部
 五百枚
 千部

大正六年一月二十日任命

大正六年二月轉出

兼	同	同	書	同	同	同	技
技			記				手
田邊開一	湯淺彦次郎	松本保吉	藤井半三郎	澁田彌三太	後藤昌五郎	兒島原米	柘植權吉

大正六年六月九日印刷
 大正六年六月十一日發行

愛知縣立農事試驗場

愛知縣名古屋市中區南大津町二丁目三番地

印刷者 英比貞造

愛知縣名古屋市中區南大津町二丁目三番地

印刷所 扶桑社

電話長四二四番

1424
134

終

